

令和5年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S11-04-07		
施設名	土木管理事務所				
所在地	東日暮里三丁目7番17号				
部課名	防災都市づくり部土木管理課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	平成元年	101,450	国・都	区債
	増改築①				一般財源
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	平成 2年 3月31日		区職員	その他	
供用開始年月日	平成 2年 4月 1日		職員数	2	0
構造	鉄骨造		階層	地上2階	
面積	敷地面積	467㎡			
	延床面積	360㎡			
設置目的・経緯	道路・公園等の維持管理作業を行う作業員の詰所として設置。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例					
駐車場の状況	無	バリアフリー	<input type="checkbox"/> エレベーター	<input type="checkbox"/> トイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	<input type="checkbox"/> 点字ブロック	<input type="checkbox"/> スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から	
事業内容	道路及び公園等の維持補修					
対象者	土木管理事務所職員					
運営時間等	運営時間	-				
	休日	-				
施設基本データ等	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	令和4年度		令和5年度(見込み)			
	指定管理に係る費用					
	備考					

III 財務諸表

(単位:千円)

勘定科目		R3年度	R4年度	差額	勘定科目	R3年度	R4年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	15,417	14,972	▲ 445	地方税等	0	0	0
	物件費	2,173	2,980	807	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	518	518	都支支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	76	76	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	7,272	753	▲ 6,519	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 24,938	▲ 19,299	5,639
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	24,938	19,299	▲ 5,639	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 24,938	▲ 19,299	5,639
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 24,938	▲ 19,299	5,639	
貸借対照表	勘定科目	R3年度	R4年度	差額	勘定科目	R3年度	R4年度	差額
	流動資産	0	0	0	流動負債	821	753	▲ 68
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	449,619	449,619	0	賞与引当金	821	753	▲ 68
	土地	449,619	449,619	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	101,450	101,450	0	固定負債	11,728	10,993	▲ 735
	建物減価償却累計額	▲ 101,450	▲ 101,450	0	特別区債	0	0	0
	工作物等	5,083	5,083	0	退職給与引当金	11,728	10,993	▲ 735
	工作物等減価償却累計額	▲ 5,083	▲ 5,083	0	その他の固定負債	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	12,549	11,746	▲ 803	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	437,070	437,873	803	
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	437,070	437,873	803	
資産の部合計	449,619	449,619	0	負債及び正味財産の部合計	449,619	449,619	0	
備考	行政費用では、給与関係費が主たる支出である。 行政費用の物件費は、主に光熱水費やホイールローダー等の賃借料である。 行政費用の維持補修費は、事務所内の照明器具交換等に係る費用である。							

指標		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	99.0	100.0	100.0	100.0	
	1㎡当たりコスト(円)	143,692	122,033	69,272	53,608	
備考						

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 (計画名: _____)					
目標指標	指標名・単位	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	目標値 実績値					
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他(_____)					
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容: _____) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ	道路及び公園等の維持補修を行う作業員の詰所として必要不可欠である。					
現状・課題	<input type="radio"/> 災害対策活動や水防活動に従事する職員、作業員の詰所として機能している。 <input type="radio"/> 築30年以上が経過し、施設内の各設備の老朽化が進行している。					
課題に対する現時点での考え	<input type="radio"/> 公共インフラの老朽化が急速に進行する中、適切かつ迅速な維持管理を担う土木管理事務所の役割は拡大しており、施設の機能・性能保全に努めていく。 <input type="radio"/> 土木管理事務所敷地内のほか、区内各所に活動資機材を保管している区有地があることから、各施設の移転統合などを検討していく。					
議会、利用者等からの意見						

令和5年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S11-03-06		
施設名	自転車置場				
所在地	南千住二丁目34番ほか（全11か所）				
部課名	防災都市づくり部土木管理課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	—			
	増改築①				
併設施設	—				
竣工年月日	昭和58年3月ほか		区職員	その他	
供用開始年月日	昭和58年4月ほか		職員数	0 <small>（置場整理員あり）</small>	
構造	—		階層	—	
面積	敷地面積	3,338㎡（全11か所）			㎡
	延床面積	—			床無 ㎡
設置目的・経緯	自転車等の利用者の利便を図り、区民の良好な生活環境の向上に資するため。				
関連部署	—				
根拠法令等 設置条例	荒川区自転車等の放置防止及び自転車等駐車場の整備に関する条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	<input type="radio"/> エレベーター	<input type="radio"/> トイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	<input type="radio"/> 点字ブロック	<input checked="" type="radio"/> スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	—	期間	—	から まで	
事業内容	自転車等利用者の利便性向上及び良好な生活環境の向上を図るため設置・管理を行う。 ・登録手数料 区内3,300円、区外6,600円（年度登録） ・自転車置場整理員（委託） 朝7時～9時					
対象者	区民、近隣区の自転車利用者					
運営時間等	運営時間	—				
	休日	—				
施設基本データ等		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度（見込み）
	置場利用登録者数（人）	3,667	3,695	3,568	3,525	3,700
	登録手数料（千円）	12,972	12,689	12,593	12,870	13,000
に指定 に係る 管理 費用等						
備考	自転車置場を利用する前年度に登録手数料を納付している利用者が多いため、登録者数と登録手数料は一致しない。					

III 財務諸表

(単位:千円)

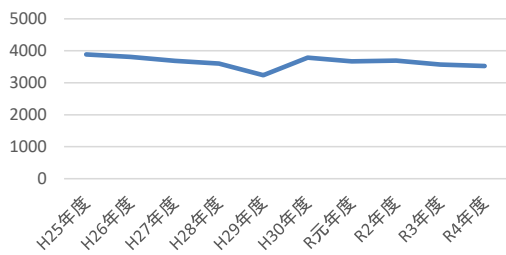
勘定科目		R3年度	R4年度	差額	勘定科目	R3年度	R4年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	11,566	12,966	1,400	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	262	306	44	都支支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	12,593	12,870	277
	減価償却費	0	0	0	その他	1,439	1,439	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	14,032	14,309	277
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	2,204	1,037	▲ 1,167
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	11,828	13,272	1,444	通常収支差額(c)+(d)=(e)	2,204	1,037	▲ 1,167
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	2,204	1,037	▲ 1,167	
貸借対照表	勘定科目	R3年度	R4年度	差額	勘定科目	R3年度	R4年度	差額
	流動資産	0	0	0	流動負債	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	41,970	41,970	0	賞与引当金	0	0	0
	土地	41,970	41,970	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	0	0	0	固定負債	0	0	0
	建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	0	0	0
	工作物等	40,254	40,254	0	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 40,254	▲ 40,254	0	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	41,970	41,970	0	
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	41,970	41,970	0	
資産の部合計	41,970	41,970	0	負債及び正味財産の部合計	41,970	41,970	0	
備考	行政費用の物件費は、自転車置場整理業務委託費等である。また、維持補修費は、自転車置場設備の修繕費である。行政収入の使用料及び手数料は、自転車置場登録手数料であり、その他は、西日暮里自転車置場に係る放置自転車対策協力金である。							

指標		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	
	1㎡当たりコスト(円)	6,648	4,445	3,543	3,976	
	受益者負担率(%)	59	86	107	97.0	
	利用登録者1人当たりコスト(円)	6,052	4,015	3,315	3,765	
備考	令和3年度は、自転車置場整理業務委託の業務時間を縮小したことに伴い、全体的にコストが減少し、受益者負担率が高くなっている。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

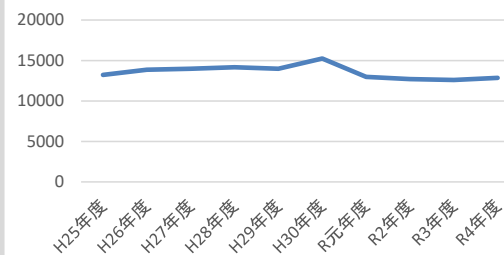
計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	置場登録者数(人)	目標値 3,800	3,800	3,700	3,700	
		実績値 3,667	3,695	3,568	3,700	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	駅圏内に低料金で駐輪できる施設であり、利用率は高い。					
現状・課題	○自転車置場は低料金で24時間利用可能であることから、登録者数は高い状況にあり、一部の自転車置場については、定員を超える申し込みがある。 ○自転車置場の登録事務については区直営にて行っている。職員の事務負担が大きいいことに加えて、利用者も金融機関窓口での振込など負担が大きいいことから、改善が必要である。					
課題に対する現時点での考え	○自転車置場の登録事務については、指定管理業務へ入れる方法、民間事業者との連携による方法、あるいは区窓口で現金納付とするか電子申請で受け付ける方法等を検討していく必要がある。					
議会、利用者等からの意見	○平成26年度11月会議 京成高架下の有効活用について ○令和元年6月会議 赤土小学校前駅への自転車一時置場の設置について					

置場利用登録者数(人)



置場利用登録者数については、概ね横ばいの状態である。

登録手数料(千円)



登録手数料についても、概ね横ばいの状態である。

令和5年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S11-03-07			
施設名	自転車保管場所					
所在地	西日暮里一丁目6番					
部課名	防災都市づくり部土木管理課					
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)			
	建築	平成2年1月	3,500	国・都	区債	一般財源
	増改築①					
	増改築②					
併設施設	-					
竣工年月日	平成2年1月		区職員	その他		
供用開始年月日	平成2年 1月16日		職員数	0	5	
構造	プレハブ		階層	1階		
面積	敷地面積		1,037㎡			
	延床面積		10.64㎡			
設置目的・経緯	撤去した自転車等の保管、返還のため。					
関連部署						
根拠法令等 設置条例	荒川区自転車等の放置防止及び自転車等駐車場の整備に関する条例					
駐車場の状況	無	バリアフリー	○エレベーター	○トイレ		
駐輪場の状況	無	対応状況	○点字ブロック	●スロープ		



II 管理運営の状況

管理形態	委託	株式会社アビック	期間	令和5年4月1日 令和6年3月31日	から まで	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 撤去自転車等の受入れ業務 返還業務 その他 保管業務 撤去費用受領業務 					
対象者	撤去自転車の所有者					
運営時間等	運営時間	11時～20時				
	休日	祝日、年末年始(土日開場)				
施設基本データ等	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込み)	
	延べ保管台数(撤去台数)(台/年)	4,360	2,666	2,922	3,868	4,000
	放置自転車台数(台/日)	495	608	425	337	350
に指定 に係る 管理 費用等						
備考	放置台数は、晴天の日中における駅周辺の放置自転車の台数を調査したものである。					

III 財務諸表

(単位:千円)

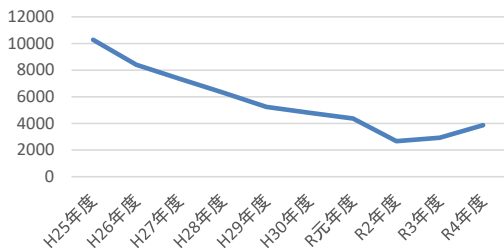
勘定科目		R3年度	R4年度	差額	勘定科目	R3年度	R4年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	22,730	22,928	198	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	160	160	都支支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	3,995	7,473	3,478
	減価償却費	0	0	0	その他	2,348	2,311	▲37
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	6,343	9,784	3,441
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲16,387	▲13,304	3,083
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	22,730	23,088	358	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲16,387	▲13,304	3,083
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲16,387	▲13,304	3,083
貸借対照表	勘定科目	R3年度	R4年度	差額	勘定科目	R3年度	R4年度	差額
	流動資産	0	0	0	流動負債	0	0	0
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	280,891	280,891	0	その他の流動負債	0	0	0
	土地	280,891	280,891	0	固定負債	0	0	0
	建物	3,500	3,500	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲3,500	▲3,500	0	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	22,203	22,203	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲22,203	▲22,203	0	負債の部合計	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	280,891	280,891	0
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	280,891	280,891	0	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	280,891	280,891	0	
資産の部合計	280,891	280,891	0					
備考	行政費用の物件費は、自転車保管場所管理返還業務委託費及び三河島自転車保管場所借地料等である。行政収入の使用料及び手数料は、放置自転車撤去手数料であり、その他は、放置自転車売却代金収入である。							

指標		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	100	100.0	100.0	100.0	
	1㎡当たりコスト(円)	96,585	21,957	21,919	22,264	
	保管自転車の1台当たりコスト(円)	22,972	8,509	7,779	5,969	
備考	令和2年度から、放置防止指導啓発業務委託費、放置自転車撤去運搬業務委託費を自転車保管場所経費の対象外としたため、大幅にコストが減少している。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

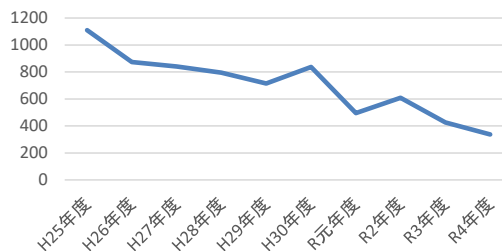
計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	放置台数(台)	目標値 600 実績値 495	470 608	450 425	350 337	350
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	放置自転車撤去に不可欠な施設であり、必要性は非常に高い。					
現状・課題	○平成2年開設のため、建物や設備の計画的な修繕が必要である。					
課題に対する現時点での考え	○建物等を点検し、不具合箇所が発生した場合は、適宜修繕していく。また、抜本的な解決策として、別の場所への移転についても検討していく。					
議会、利用者等からの意見						

延べ保管台数(撤去台数)(台/年)



令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による自転車利用者の減少もあり、撤去台数が減少したが、以降は自転車利用者増加の影響もあり、撤去台数は増加した。

放置自転車台数(台/日)



駅周辺の放置自転車台数は減少傾向にあり、引き続き撤去等の対策を行っていく。

令和5年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S11-03-03			
施設名	センターまちや自転車駐車場					
所在地	荒川七丁目50番9号					
部課名	防災都市づくり部土木管理課					
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)			
	建築	平成8年	768,822	50,000	-	718,822
	増改築①					
	増改築②					
併設施設	-					
竣工年月日	平成8年3月15日		区職員	0		
供用開始年月日	平成8年4月1日		職員数	15		
構造	SRC造		階層	地上22階地下2階のうち地下2階部分		
面積	敷地面積	マンション区分所有の地下部分のため敷地無 ^ア				
	延床面積	1,438 ^ア m ²				
設置目的・経緯	自転車等の利用者の利便を図り、区民の良好な生活環境の向上に資するため。					
関連部署						
根拠法令等 設置条例	荒川区自転車等の放置防止及び自転車等駐車場の整備に関する条例					
駐車場の状況	無	バリアフリー	○エレベーター	○トイレ		
駐輪場の状況	無	対応状況	○点字ブロック	●スロープ		



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	株式会社ソーリン	期間	令和5年4月1日 令和10年3月31日	から まで	
事業内容	センターまちや自転車駐車場の利用の承認・不承認、使用料の收受、還付、利用承認の取り消し及び施設の維持管理に関する業務を行う。 (定期利用定数1,089台 一時利用定数250台)					
対象者	自転車駐車場利用者等					
運営時間等	運営時間	午前4時30分から翌日の午前1時まで				
	休日	-				
施設基本データ等		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込み)
	定期利用者数(人)	366,472	274,505	261,601	255,265	275,000
	一時利用者数(人)	70,565	45,363	54,316	63,631	65,000
	延べ利用者数(人)	437,037	319,868	315,917	318,896	340,000
	定数(台)	1,339	1,339	1,339	1,339	1,339
	定期利用率(%)	117	106	101	107	110
	一時利用率(%)	77	49	59	70	73
に指定管理 に係る費用	指定管理料(千円)	1,393	398	437	1,834	30,717
	指定管理者の支出合計(千円)	38,300	33,846	32,274	32,439	30,777
	指定管理者の人件費(千円)	22,734	18,696	12,773	11,141	14,336
	使用料収入(千円)	36,557	29,725	29,975	32,911	34,000
備考	使用料収入について、令和4年度までは利用料金制のため、事業者の収入となっており、令和5年度以降は使用料制のため、区の収入となっている。指定管理料について、令和4年度までは修繕費のみ支出しており、令和5年度以降は修繕費に加えて人件費、管理運営費も支出している。					

III 財務諸表

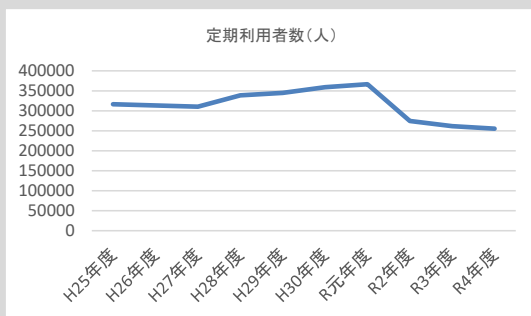
(単位:千円)

	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	勘定科目			R3年度	R4年度	差額
	行政コスト計算書	行政費用	行政収入				行政収入合計(a)	通常収支差額(c)+(d)=(e)	当期収支差額(e)+(h)			
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	0	0	地方税等	0	0	0	0	
	物件費	437	1,834	1,397	0	0	国庫支出金	0	0	0	0	
	維持補修費	4,481	0	▲ 4,481	0	0	都支支出金	0	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	0	
	補助費等	17,221	18,258	1,037	0	0	使用料及び手数料	0	0	0	0	
	減価償却費	14,078	14,078	0	1,861	5,282	3,421	その他	1,861	5,282	3,421	
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	1,861	5,282	3,421	行政収入合計(a)	1,861	5,282	3,421	
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	▲ 34,356	▲ 28,888	5,468	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 34,356	▲ 28,888	5,468	
	その他行政費用	0	0	0	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	36,217	34,170	▲ 2,047	▲ 34,356	▲ 28,888	5,468	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 34,356	▲ 28,888	5,468	
特別費用(g)	19,714	0	▲ 19,714	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	▲ 19,714	0	19,714	▲ 54,070	▲ 28,888	25,182	当期収支差額(e)+(h)	▲ 54,070	▲ 28,888	25,182		
貸借対照表	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	勘定科目			R3年度	R4年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	0	流動負債	0	0	0	0	0
		不納欠損引当金	0	0	0	0	還付未済金	0	0	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0	0	特別区債	0	0	0	0	0
	固定資産	有形固定資産	431,671	417,593	▲ 14,078	0	賞与引当金	0	0	0	0	0
		土地	275,964	275,964	0	0	その他の流動負債	0	0	0	0	0
		建物	491,091	491,091	0	0	固定負債	0	0	0	0	0
		建物減価償却累計額	▲ 344,746	▲ 358,005	▲ 13,259	0	特別区債	0	0	0	0	0
		工作物等	12,218	12,218	0	0	退職給与引当金	0	0	0	0	0
		工作物等減価償却累計額	▲ 2,856	▲ 3,674	▲ 818	0	その他の固定負債	0	0	0	0	0
		無形固定資産	0	0	0	0	負債の部合計	0	0	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0	0	正味財産	431,671	417,593	▲ 14,078	431,671	417,593	▲ 14,078
	その他の固定資産	0	0	0	0	正味財産の部合計	431,671	417,593	▲ 14,078	431,671	417,593	▲ 14,078
資産の部合計	431,671	417,593	▲ 14,078	431,671	417,593	▲ 14,078	負債及び正味財産の部合計	431,671	417,593	▲ 14,078		
備考	行政費用の物件費は、指定管理料(修繕費)が計上されている。補助費等は、管理組合費である。また、令和3年度の維持補修費は、ベルトコンベアの修繕費である。行政収入のその他は、令和3年度はベルトコンベアの修繕に係る管理組合負担金であり、令和4年度は指定管理者変更に伴う前受金である。											

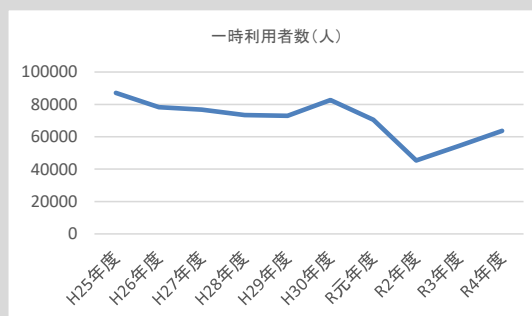
指標	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
有形固定資産減価償却率(%)	64	66	69	71.9	
1㎡当たりコスト(円)	25,806	23,423	25,186	23,762	
人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	59	55	40	34.3	
1日当たりコスト(円)	101,668	92,279	99,225	93,616	
利用者1人当たりコスト(円)	85	105	115	107	
定数1台当たり年間コスト(円)	26,375	23,939	25,741	24,286	
受益者負担率(%)	49	44	44.0	50.8	
財務指標・評価指標等					
備考	平成30年度は、管理組合費の増額及び指定管理者変更に伴う前受金により、行政コスト全体が増加している。				

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	年間利用者数(人)	目標値 443,000	445,000	392,000	330,000	340,000
		実績値 437,037	319,868	315,917	318,896	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	地下鉄駅に直結しており、駅利用者のニーズは高い。					
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○令和5年4月、指定管理者が交代した。 ○築20年以上経過しているため、計画的な改修・修繕が必要である。 ○子供乗せ自転車等の大型自転車の駐輪に対応していく必要がある。 ○令和4年度までは利用料金制で運営してきたが、収支状況が良くなかった。そのため、令和5年度からは使用料金制に変更する。 ○令和5年度から、深夜や早朝の時間帯を無人とすることで、管理コストの削減を図っている。 					
課題に対する現時点での考え	<ul style="list-style-type: none"> ○令和5年度から使用料金制に変更したことで、事業者の負担軽減を図り、安定した駐車場の運営体制に変更した。 ○大型自転車の駐車スペースを増やすなど、弾力的な対応を行っていく。 					
議会、利用者等からの意見						



令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少した。以降はほとんど横ばいとなっている。



令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、一時利用者が減少したが、令和3年度から増加に転じている。

令和5年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S11-03-04		
施設名	三河島駅前自転車駐車場				
所在地	西日暮里一丁目6番20号				
部課名	防災都市づくり部土木管理課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	平成26年 356,178	国・都	区債	一般財源
	増改築①				
	増改築②				
併設施設	-				
竣工年月日	平成26年 9月 26日		区職員	その他	
供用開始年月日	平成26年 10月1日		職員数	0	7
構造	S造		階層	地下1階	
面積	敷地面積	874㎡			
	延床面積	12㎡ (管理小屋延床面積: 地下機械式駐輪場は床無)			
設置目的・経緯	自転車等の利用者の利便を図り、区民の良好な生活環境の向上に資するため				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区自転車等の放置防止及び自転車等駐車場の整備に関する条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	○エレベーター	○トイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	○点字ブロック	○スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	株式会社ソーリン	期間	令和5年4月1日 令和10年3月31日	から まで	
事業内容	三河島駅前自転車駐車場の利用の承認・不承認、使用料の收受、還付、利用承認の取り消し及び施設の維持管理に関する業務を行う。 (定期利用定数440台 一時利用定数46台)					
対象者	自転車駐車場利用者等					
運営時間等	運営時間	24時間営業(機械式駐輪場は午前4時30分から翌日の午前1時まで)				
	休日	無				
施設基本データ等		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込み)
	定期利用者数(人)	33,466	23,023	25,323	35,612	38,000
	一時利用者数(人)	8,072	6,957	9,824	14,057	15,000
	延べ利用者数(人)	41,538	29,980	35,147	49,669	53,000
	定数(台)	440	440	440	486	486
	定期利用率(%)	55	44	40	51	55
	一時利用率(%)	20	18	26	35	40
に指定管理 等に係る 費用	指定管理料(千円)	2,450	2,250	1,021	844	17,617
	指定管理者の支出合計(千円)	18,917	19,210	16,526	18,555	17,677
	指定管理者の人件費(千円)	10,350	11,346	10,317	10,531	8,311
	使用料金収入(千円)	5,180	4,111	4,501	5,404	5,800
備考	使用料収入について、令和4年度までは利用料金制のため、事業者の収入となっており、令和5年度以降は使用料制のため、区の収入となっている。指定管理料について、令和4年度までは修繕費のみ支出しており、令和5年度以降は修繕費に加えて人件費、管理運営費も支出している。					

III 財務諸表

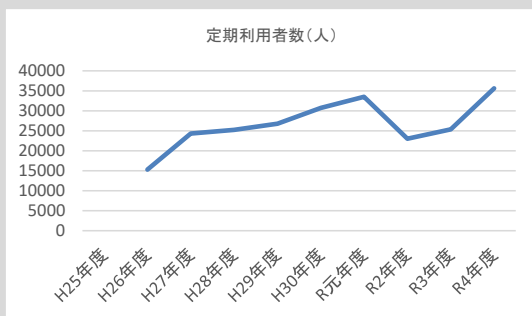
(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	R3年度	R4年度	差額		R3年度	R4年度	差額	
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	1,021	844	▲ 177	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	4,762	▲ 4,762	都支支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	298	273	▲ 25	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	24,502	24,502	0	その他	0	498	498
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	498	498
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 25,821	▲ 33,004	▲ 7,183
	その他行政費用	0	3,121	3,121	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	25,821	33,502	7,681	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 25,821	▲ 33,004	▲ 7,183
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 25,821	▲ 33,004	▲ 7,183	
貸借対照表	勘定科目			勘定科目				
	R3年度	R4年度	差額	R3年度	R4年度	差額		
	流動資産			流動負債				
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	
	有形固定資産	249,836	263,984	14,148	その他の流動負債	0	0	
	土地	73,726	112,377	38,651	固定負債	0	0	
	建物	12,656	12,656	0	特別区債	0	0	
	建物減価償却累計額	▲ 3,341	▲ 3,759	▲ 418	退職給与引当金	0	0	
	工作物等	359,471	359,471	0	その他の固定負債	0	0	
工作物等減価償却累計額	▲ 192,677	▲ 216,761	▲ 24,084	負債の部合計	0	0		
無形固定資産	0	0	0	正味財産	249,836	263,984	14,148	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	249,836	263,984	14,148	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	249,836	263,984	14,148	
資産の部合計	249,836	263,984	14,148					
備考	行政費用の物件費は、指定管理料(保守委託費・修繕費)が計上されている。補助費等は、管理組合費である。令和4年度の行政収入のその他は、指定管理者変更に伴う前受金である。							

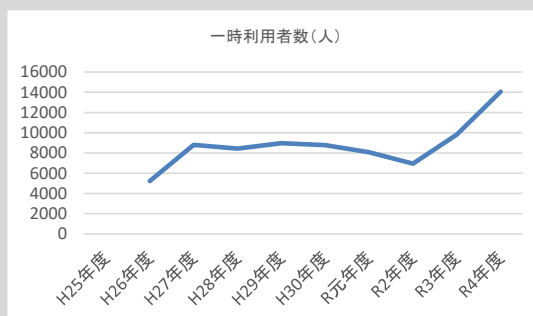
指標		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
財務指標・ 評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	40	46	53	59.3	
	1㎡当たりコスト(円)	35,116	34,858	33,274	43,173	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	55	59	62	56.8	
	1日当たりコスト(円)	74,658	74,110	70,742	91,786	
	利用者1人当たりコスト(円)	656	902	735	675	
	定数1台当たり年間コスト(円)	61,932	61,477	58,684	76,141	
	受益者負担率(%)	12	9	10.9	10.6	
備考	他の自転車駐車場と比較して、利用者1人当たりコストや定数1台当たり年間コストが高い。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	年間利用者数(人)	目標値 40,000	実績値 41,538	43,000	34,500	37,000
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無					
管理形態の変更の推移						
利用者・地域のニーズ	三河島駅の至近にあり、駅利用者のニーズは高い。					
現状・課題	<p>○令和5年年4月、指定管理者が交代した。</p> <p>○定期利用、一時利用ともに利用率が低く、健全な収支を実現することが求められている。</p> <p>○これまでは利用料金制で運営してきたが、収支状況が良くなかった。そのため、令和5年度からは使用料金制に変更する。</p> <p>○令和5年度から、深夜や早朝などの時間帯を無人とすることで、管理コストの縮減を図っている。</p> <p>○大型自転車や一時利用者の駐輪により、平置き場が定員を超えて利用されていたが、令和5年4月から一時利用専用の置場を新設することで、適正な駐車場運営を図っている。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○経費の縮減策に加え、当面の活用策など、今後のあり方について検討していく。</p> <p>○令和5年度から使用料金制に変更したことで、事業者の負担軽減を図り、安定した駐車場の運営体制に変更した。</p>					
議会、利用者等からの意見	経費の縮減策に加え、当面の活用策など、今後のあり方について検討すること。					



令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少したが、以降は増加に転じている。



令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少したが、以降は増加に転じている。また、働き方改革などの影響もあり、定期利用に比べ、増加が大きい。

令和5年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S11-04-03		
施設名	荒川自然公園				
所在地	荒川八丁目25番3号				
部課名	防災都市づくり部土木管理課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和47~49年	136,160		
	増改築①	昭和52~53年	306,580		
	増改築②	平成5~6年	937,300		
併設施設					
竣工年月日			区職員	その他	
供用開始年月日	昭和49年 4月26日		職員数	0	3
構造			階層		
面積	敷地面積	61,068㎡			
	延床面積	-㎡			
設置目的・経緯	周辺環境を改善するため、三河島処理場(現三河島水再生センター)を覆蓋して公園を整備。				
関連部署	防災都市づくり部基盤整備課				
根拠法令等 設置条例	都市公園法 荒川区立公園条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況	有	対応状況	●点字ブロック	●スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	株式会社富士植木	期間	令和4年 4月1日 令和7年 3月31日	から まで	
事業内容	維持管理、施設利用許可、利用案内、植栽管理、動物等管理、園内巡視、施設等保守管理、昇降機管理、修繕、備品管理、利用促進、腐葉土維持管理、ホタル観賞用施設設置・撤去					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前7時~午後5時(季節・区域において異なる)				
	休日	毎月第1・第3木曜日、年末年始(12月29日~翌年1月3日)				
施設基本データ等	交通園年間利用者数(人)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込み)
	庭球場年間利用者数(人)	142,814	31,099	38,517	52,944	80,000
	野球場年間利用者数(人)	26,074	26,517	32,319	32,747	33,000
	年間団体利用件数(件)	4,898	2,966	4,337	4,243	4,400
		102	57	67	72	80
に指定 に係る 費用 等 管理 費						
備考	庭球場や野球場の運動施設の利用者数は、コロナ禍で減少傾向にあったが、徐々に回復している。また、コロナ禍により利用制限をしていた交通園も、制限緩和したことにより利用者数が増加傾向にある。					

III 財務諸表

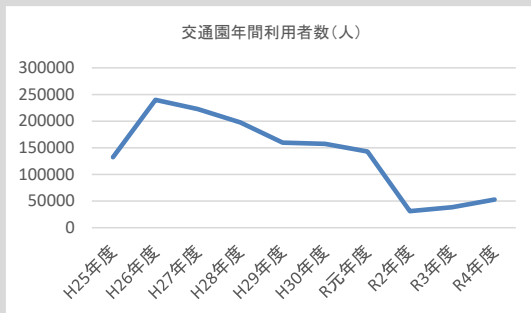
(単位:千円)

	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	勘定科目			R3年度	R4年度	差額
	R3年度	R4年度	差額				R3年度	R4年度	差額			
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	0	0	0	0	地方税等	0	0	0	0	
		物件費	80,985	85,415	4,430	0	0	0	0	0	0	
		維持補修費	2,636	12,481	9,845	0	0	0	0	0	0	
		扶助費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		補助費等	239	790	551	0	0	0	0	0	0	
		減価償却費	13,295	13,295	0	11,174	10,458	▲ 716	152	0	▲ 152	
		不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	11,326	10,458	▲ 868	0	0	0	
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	▲ 85,829	▲ 101,523	▲ 15,694	0	0	0	
		その他行政費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		行政費用合計(b)	97,155	111,981	14,826	▲ 85,829	▲ 101,523	▲ 15,694	▲ 85,829	▲ 101,523	▲ 15,694	
		特別費用(g)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	▲ 85,829	▲ 101,523	▲ 15,694	▲ 85,829	▲ 101,523	▲ 15,694			
貸借対照表	固定資産	収入未済	0	0	0	0	流動負債	0	0	0	0	
		不納欠損引当金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		その他の流動資産	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		有形固定資産	59,722	46,428	▲ 13,294	0	0	0	0	0	0	
		土地	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		建物	215,909	215,909	0	0	0	0	0	0	0	
		建物減価償却累計額	▲ 177,389	▲ 186,698	▲ 9,309	0	0	0	0	0	0	
		工作物等	861,798	861,798	0	0	0	0	0	0	0	
		工作物等減価償却累計額	▲ 840,596	▲ 844,582	▲ 3,986	0	0	0	0	0	0	
		無形固定資産	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		建設仮勘定	0	0	0	59,722	46,428	▲ 13,294	59,722	46,428	▲ 13,294	
その他の固定資産	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
資産の部合計	59,722	46,428	▲ 13,294	59,722	46,428	▲ 13,294	59,722	46,428	▲ 13,294			
備考	行政費用では、維持補修費が徒渉池塗装工事等を実施したことにより増加している。											
	行政収入の使用料及び手数料は、庭球場及び野球場の使用料である。											

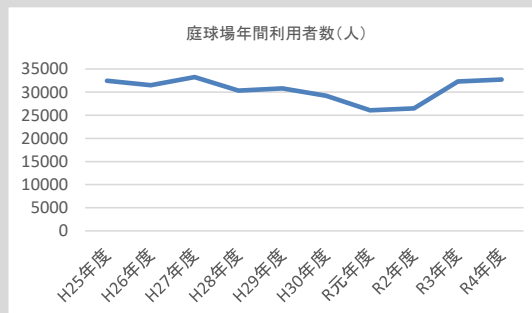
指標		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	92.0	93	95	95.7	
	管理面積1㎡当たり年間コスト(円)	1,926	1,756	1,591	1,834	
	区民1人当たり年間コスト(円)	552	503	456	525	
	1日当たりコスト(円)	351,033	320,075	290,015	334,272	
備考						

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	目標値 実績値					
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 平成19年度:直営から業務委託に変更) ○ 無					
利用者・地域のニーズ	地域の行楽・憩いの場として幅広い年齢層の方々に利用されている。また、近隣区からの利用者も多い。					
現状・課題	○利用制限解除や白鳥導入効果により利用者数が増加したため、老朽化した施設の機能回復及び安全性の確保を早急に図る必要がある。 ○トイレのバリアフリー化について検討する必要がある。 ○施設利用については、区民の新たなニーズに対応した利用者促進を図っていく必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○施設の定期点検に基づき、緊急性や重要性の高い施設から計画的に更新していく。 ○東京都下水道局と連携を図りながら、トイレ施設の整備について検討していく。 ○利用促進を図るため、施設の更新をはじめ既存施設の利活用やイベント等の実施を検討していく。					
議会、利用者等からの意見	○平成25年2月予特 バリアフリーに対応したトイレについて ○平成28年9月決特 公衆・公園トイレの改修について ○令和2年2月建設環境 公衆・公園トイレの整備方針について					



新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、令和2年度に交通園の利用を制限したため利用者が大幅に減少したが、徐々に回復してきている。



コロナ禍における屋外での貴重な活動場所として、庭球場の利用は昨年度よりも増加している。

令和5年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S11-04-04		
施設名	その他公園				
所在地	33か所				
部課名	防災都市づくり部土木管理課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築		国・都	区債	一般財源
	増改築①				
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日			区職員	その他	
供用開始年月日			職員数		
構造			階層		
面積	敷地面積	93,300 m ²			
	延床面積	- m ²			
設置目的・経緯	人々のレクリエーションの空間の提供、良好な都市景観の形成、都市環境の改善、都市の防災性の向上等を図る。				
関連部署	防災都市づくり部基盤整備課				
根拠法令等 設置条例	都市公園法 荒川区立公園条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	○エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況	有	対応状況	●点字ブロック	●スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から	
事業内容	園内の清掃、樹木の剪定、遊具の安全点検及び修繕、電気施設の保守、その他施設の維持					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	-				
	休日	-				
施設基本データ等	設置箇所数(累計)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込み)
	その他公園面積(合計)	34	34	34	33	33
	荒川公園展示場利用件数(件)	99,204	99,204	112,206	93,300	93,300
	公園利用満足度(5段階)	5	5	16	25	30
		4	4	4	4	4
に指定 に係る 費用等						
備考	令和5年4月日暮里公園の改修整備が完了しリニューアルオープンした。 令和4年度分から、宮前公園を「その他公園」から除き、単独でシートを作成したことにより、施設基本データの設置箇所数及び公園面積が減少している。					

III 財務諸表

(単位:千円)

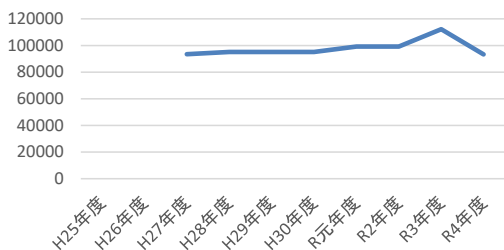
		勘定科目	R3年度	R4年度	差額	勘定科目	R3年度	R4年度	差額
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
		物件費	191,917	180,329	▲ 11,588	国庫支出金	6,740	0	▲ 6,740
		維持補修費	66,996	22,726	▲ 44,270	都支支出金	30,301	34,020	3,719
		扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	1,058	764	▲ 294	使用料及び手数料	4,554	14,354	9,800
		減価償却費	57,406	86,355	28,949	その他	221	0	▲ 221
		不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	41,816	48,374	6,558
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 550,452	▲ 419,234	131,218
		その他行政費用	274,891	177,434	▲ 97,457	金融収支差額(d)	0	0	0
		行政費用合計(b)	592,268	467,608	▲ 124,660	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 550,452	▲ 419,234	131,218
		特別費用(g)	116,911	29,424	▲ 87,487	特別収入(f)	0	10,956	10,956
特別収支差額(f)-(g)=(h)	▲ 116,911	▲ 18,468	98,443	当期収支差額(e)+(h)	▲ 667,363	▲ 437,702	229,661		
貸借対照表	固定資産	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
		有形固定資産	24,131,935	27,289,988	3,158,053	賞与引当金	0	0	0
		土地	22,818,552	25,902,391	3,083,839	その他の流動負債	0	0	0
		建物	622,749	730,519	107,770	固定負債	0	0	0
		建物減価償却累計額	▲ 202,998	▲ 289,267	▲ 86,269	特別区債	0	0	0
		工作物等	2,315,792	2,443,424	127,632	退職給与引当金	0	0	0
		工作物等減価償却累計額	▲ 1,422,160	▲ 1,497,079	▲ 74,919	その他の固定負債	0	0	0
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
		建設仮勘定	25,547	0	▲ 25,547	正味財産	24,164,932	27,297,438	3,132,506
その他の固定資産	7,450	7,450	0	正味財産の部合計	24,164,932	27,297,438	3,132,506		
資産の部合計	24,164,932	27,297,438	3,132,506	負債及び正味財産の部合計	24,164,932	27,297,438	3,132,506		
備考	行政費用の物件費は、主に公園の維持管理業務委託に係る費用である。 令和4年度分から、宮前公園を「その他公園」から除き、単独でシートを作成したことにより、行政費用合計が減少している。								

指標	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
有形固定資産減価償却率(%)	77	64	55	56.3	
管理面積1㎡当たり年間コスト(円)	3,425	4,474	5,278	5,012	
区民1人当たり年間コスト(円)	1,528	2,082	2,778	2,193	
1日当たりコスト(円)	892,803	1,215,912	1,622,652	1,281,118	
1か所当たり年間コスト(円)	9,584,500	13,053,176	17,419,647	13,753,176	
財務指標・評価指標等					
備考					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

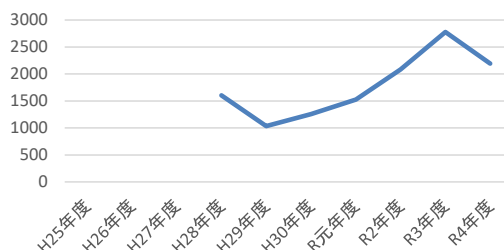
計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	公園・児童遊園面積(ha)	55 実績値 43	55	55	55	55
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	憩い、運動、遊び、グループワーク、イベントなど多様な活用ができるためニーズが高い。					
現状・課題	○「荒川区花と緑の基本計画」で掲げている区民一人当たりの公園等面積3.0㎡を目指し、公園面積の拡充を図っているが目標達成のためには、さらに整備を進める必要がある。 ○ボール遊びができる施設へのニーズが高い。 ○老朽化した施設について、機能回復及び安全性の確保を図る必要がある。 ○トイレのバリアフリー化について検討する必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○整備目標達成に向けて、都市計画公園の整備を着実に実施するとともに、防災や防犯の観点をもって、地域バランスを考慮しつつ、更なる用地の確保に努める。 ○ボール遊び場については、リニューアルや新設の際、周囲の状況を踏まえ設置していく。 ○施設の定期点検に基づき、緊急性や重要性の高い施設を計画的に更新していく。 ○トイレのバリアフリー化は国費等の財源を活用しながら計画的に実施していく。					
議会、利用者等からの意見	○平成29年度2月会議 公園等のオープンスペースの活用促進について ○令和2年2月建設環境 公衆・公園トイレの整備方針について ○令和3年度11月会議 公園の利用方法・利用ルールについて ○令和4年度2月会議 遊具の修繕及びボール遊びができる公園の充実について					

その他公園面積(合計)



都市計画公園整備事業の進捗に伴い、公園面積の拡充が図れている。(令和4年度は宮前公園を除いたことにより、減少している)

区民1人当たり年間コスト(円)



公園管理の外部委託化が進むことで、管理コストが上昇傾向にある。(令和4年度は宮前公園を除いたことにより、減少している)

令和5年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S11-04-05		
施設名	児童遊園				
所在地	70か所				
部課名	防災都市づくり部土木管理課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築				
	増改築①				
併設施設					
竣工年月日			区職員	その他	
供用開始年月日			職員数		
構造			階層		
面積	敷地面積			31,511	m ²
	延床面積			-	m ²
設置目的・経緯	児童に健全な遊び場を提供し、その健康を増進するとともに情操を豊かにする。				
関連部署	防災都市づくり部基盤整備課				
根拠法令等	都市公園法				
設置条例	荒川区立公園条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	○エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況	有	対応状況	●点字ブロック	●スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から	
事業内容	園内の清掃、樹木の剪定、遊具の安全点検及び修繕、電気施設の保守、その他施設の維持					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	-				
	休日	-				
施設基本データ等	設置箇所数(累計)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込み)
	児童遊園面積(合計)	71	71	70	70	70
		33,506	33,454	31,606	31,399	31,606
に指定に係る費用等						
備考	都市計画公園事業(宮前公園)の整備に伴い、令和元年度に児童遊園1箇所(宮前第二児童遊園)と令和3年度に児童遊園1箇所(宮前児童遊園)を廃止した。また、令和4年度は東尾久三丁目児童遊園の場所変更に伴い、既存施設を全て撤去したことから、合計面積が減少している。令和5年度については、同児童遊園を新たに開設する予定である。					

III 財務諸表

(単位:千円)

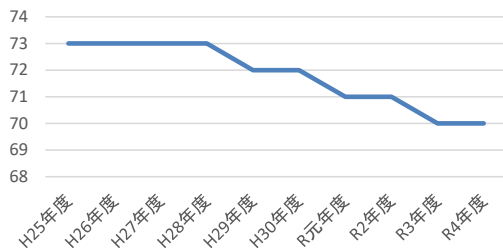
勘定科目		R3年度	R4年度	差額	勘定科目	R3年度	R4年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	42,014	54,462	12,448	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	15,414	19,923	4,509	都支支出金	0	410	410
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	1,578	1,560	▲18	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	17,643	19,967	2,324	その他	0	0	0
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	410	410
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲86,882	▲106,604	▲19,722
	その他行政費用	10,233	11,102	869	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	86,882	107,014	20,132	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲86,882	▲106,604	▲19,722
	特別費用(g)	0	4	4	特別収入(f)	0	4	4
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲86,882	▲106,604	▲19,722	
貸借対照表	勘定科目	R3年度	R4年度	差額	勘定科目	R3年度	R4年度	差額
	流動資産	0	0	0	流動負債	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	5,825,938	5,813,128	▲12,810	賞与引当金	0	0	0
	土地	5,691,121	5,691,084	▲37	その他の流動負債	0	0	0
	建物	66,959	61,148	▲5,811	固定負債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲37,509	▲34,330	3,179	特別区債	0	0	0
	工作物等	812,254	820,080	7,826	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲706,886	▲724,853	▲17,967	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	5,825,938	5,813,128	▲12,810	
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	5,825,938	5,813,128	▲12,810	
資産の部合計	5,825,938	5,813,128	▲12,810	負債及び正味財産の部合計	5,825,938	5,813,128	▲12,810	
備考	児童遊園に職員が直接勤務していないことから、給与関係費等は計上されない。行政費用の物件費は、電気代等光熱費の上昇により増加した。補助費等は公園連絡員の報償費である。また、その他行政費用は、児童遊園の複合遊具改修に係る費用である。							

指標		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
財務指標・ 評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	84	84	85	86.2	
	管理面積1㎡当たり年間コスト(円)	2,597	3,158	2,749	3,408	
	区民1人当たり年間コスト(円)	432	496	408	502	
	1日当たりコスト(円)	252,578	289,455	238,033	293,189	
	1か所当たり年間コスト(円)	1,262,890	1,488,042	1,241,171	1,528,771	
備考						

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

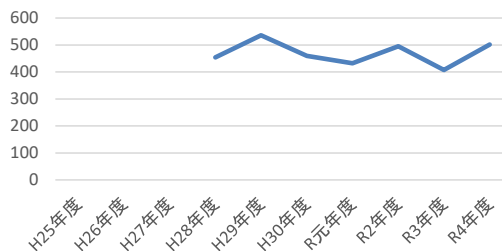
計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	公園・児童遊園面積(ha)	目標値 55 実績値 43	55 43	55 45	55 45	55 45
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	憩い、運動、遊び、グループワーク、イベントなど多様な活用ができるためニーズが高い。					
現状・課題	○「荒川区花と緑の基本計画」で掲げている区民一人当たりの公園等面積3.0㎡を目指し、児童遊園面積の拡充を図っているが目標達成のためには、さらに整備を進める必要がある。 ○老朽化した施設について、機能回復及び安全性の確保を図る必要がある。 ○トイレのバリアフリー化について検討する必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○整備目標達成に向けて、都市計画公園の整備を着実に実施するとともに、防災や防犯の観点をもって、地域バランスを考慮しつつ、更なる用地の確保に努める。 ○施設の定期点検に基づき、緊急性や重要性の高い施設を計画的に更新していく。 ○トイレのバリアフリー化は国費等の財源を活用しながら計画的に実施していく。					
議会、利用者等からの意見	○平成28年9月決特 公衆・公園トイレの改修について ○平成29年2月予特 児童遊園の多機能型トイレについて ○令和元年6月会議 児童遊園総点検について ○令和3年度11月会議 公園の利用方法・利用ルールについて					

設置箇所数(累計)



都市計画公園の整備に伴う児童遊園の統廃合等により、箇所数は減少している。

区民1人当たり年間コスト(円)



箇所数は減少しているが、維持管理に要するコストはほぼ横ばいの状況となっている。

令和5年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S11-04-06		
施設名	グリーンスポット等				
所在地	26か所				
部課名	防災都市づくり部土木管理課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築				
	増改築①				
併設施設					
竣工年月日			区職員	その他	
供用開始年月日			職員数		
構造			階層		
面積	敷地面積		12,262 m ²		
	延床面積		-		
設置目的・経緯	公園や児童遊園を補完するとともに、身近な居住環境の向上を図る。				
関連部署	防災都市づくり部基盤整備課				
根拠法令等 設置条例	地方自治法				
駐車場の状況	無	バリアフリー	○エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況	有	対応状況	●点字ブロック	●スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から	
事業内容	園内の清掃、樹木の剪定、遊具の安全点検及び修繕、電気施設の保守、その他施設の維持					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	-				
	休日	-				
施設基本データ等		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込み)
	グリーンスポット設置箇所数(累計)	15	15	15	15	15
	広場・緑地設置箇所数(累計)	11	11	11	11	11
に指定管理に係る費用等						
備考	令和4年度、西尾久六丁目グリーンスポット及び荒川二丁目グリーンスポットの隣接地を買収し拡張整備を実施した。					

III 財務諸表

(単位:千円)

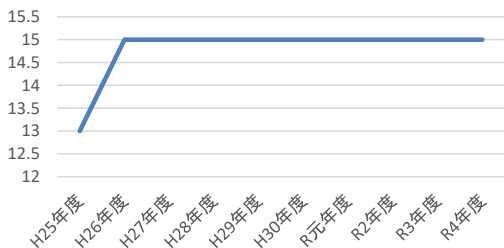
勘定科目		R3年度	R4年度	差額	勘定科目	R3年度	R4年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	18,053	20,895	2,842	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	358	371	13	都支支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	11,504	11,081	▲ 423	その他	0	0	0
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 29,915	▲ 55,802	▲ 25,887
	その他行政費用	0	23,455	23,455	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	29,915	55,802	25,887	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 29,915	▲ 55,802	▲ 25,887
	特別費用(g)	0	5,181	5,181	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	▲ 5,181	▲ 5,181	当期収支差額(e)+(h)	▲ 29,915	▲ 60,983	▲ 31,068	
貸借対照表	勘定科目	R3年度	R4年度	差額	勘定科目	R3年度	R4年度	差額
	流動資産				流動負債	0	0	0
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	3,168,070	3,159,453	▲ 8,617	その他の流動負債	0	0	0
	土地	3,065,981	3,060,901	▲ 5,080	固定負債	0	0	0
	建物	37,541	37,541	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 11,819	▲ 12,778	▲ 959	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	364,528	372,073	7,545	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 288,161	▲ 298,284	▲ 10,123	負債の部合計	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	正味財産	3,173,251	3,159,453	▲ 13,798	
建設仮勘定	5,181	0	▲ 5,181	正味財産の部合計	3,173,251	3,159,453	▲ 13,798	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	3,173,251	3,159,453	▲ 13,798	
資産の部合計	3,173,251	3,159,453	▲ 13,798					
備考	・グリーンスポット等に職員が直接勤務していないことから、給与関係費等は計上されない。 ・令和4年度、西尾久六丁目グリーンスポット及び荒川二丁目グリーンスポットを拡張整備したため、その他行政費用が増加した。							

指標		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
財務指標・ 評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	69	72	75	75.9	
	管理面積1㎡当たり年間コスト(円)	3,879	2,076	1,716	4,551	
	区民1人当たり年間コスト(円)	147	170	140	262	
	1日当たりコスト(円)	85,937	99,186	81,959	152,882	
	1か所当たり年間コスト(円)	1,493,667	1,392,423	1,150,577	2,146,231	
備考						

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

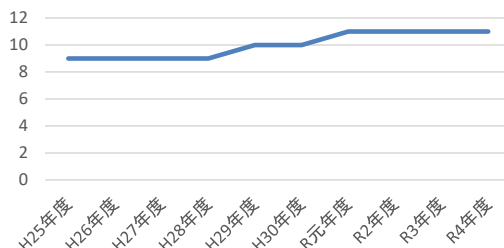
計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
		目標値	-	-	-	-
		実績値	-	-	-	-
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	憩いの場所としてニーズは高い。					
現状・課題	○一部のグリーンスポットにおいては、区との協定に基づき、町会が維持・管理を行っている。					
課題に対する現時点での考え	○現在、委託により維持・管理を行っているグリーンスポットについても、区民との協働による維持・管理を検討していく。					
議会、利用者等からの意見						

グリーンスポット設置箇所数(累計)



近年、密集エリア内の小規模なオープンスペースは、防災スポットとして整備されており、グリーンスポット設置箇所数は変化していない。

広場・緑地設置箇所数(累計)



平成28年度：ゆいの森あいさつ広場設置
平成30年度：真土おもいで広場設置

令和5年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S11-04-08		
施設名	宮前公園				
所在地	東尾久八丁目45番22号				
部課名	防災都市づくり部土木管理課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	平成28年	32,060		
	増改築①	平成30~令和2年	938,838		
増改築②	令和3年	553,449			
併設施設	尾久図書館				
竣工年月日	令和4年3月10日		区職員	その他	
供用開始年月日	平成28年11月1日		職員数	0	17
構造			階層		
面積	敷地面積	25,431 m ²			
	延床面積	- m ²			
設置目的・経緯	東尾久地区での憩いの場の確保及び防災性の向上を図るため、令和3年度に第一期、令和4年度に第二期を開園した。				
関連部署	防災都市づくり部基盤整備課				
根拠法令等	都市公園法				
設置条例	荒川区立公園条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況	有	対応状況	●点字ブロック	●スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	日本体育施設株式会社東京支店	期間	令和4年4月1日 令和7年3月31日	から まで	
事業内容	維持管理、施設利用許可、利用案内、植栽管理（宮前公園及び尾久図書館）、園内巡回、施設等保守管理、修繕、備品管理、利用促進					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	24時間(管理事務所：午前8時30分から午後5時15分)				
	休日	なし				
施設基本データ等	庭球場年間利用者数(人)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込み)
		-	-	-	10,905	11,000
に指定管理に係る費用						
備考	新型コロナウイルス感染症の位置付けが令和5年5月から変更されたことに伴い、イベント開催時の来園者や、庭球場利用者の増加が見込まれる。					

III 財務諸表

(単位:千円)

	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	勘定科目			R3年度	R4年度	差額
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費		0	0	0	地方税等		0	0	0	
		物件費	0	87,601	87,601	国庫支出金		0	0	0		
		維持補修費	0	1,061	1,061	都支出金		0	0	0		
		扶助費	0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0		
		補助費等	0	3	3	使用料及び手数料	104	3,359	3,255			
		減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0			
		不納欠損・賞与引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	104	3,359	3,255			
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	104	▲85,306	▲85,410			
		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0			
		行政費用合計(b)	0	88,665	88,665	通常収支差額(c)+(d)=(e)	104	▲85,306	▲85,410			
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0					
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	104	▲85,306	▲85,410					
貸借対照表	貸借対照表	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0		
			不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0		
			その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0		
		有形固定資産	有形固定資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0		
			土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0		
			建物	0	0	0	固定負債	0	0	0		
			建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	0	0	0		
			工作物等	0	0	0	退職給与引当金	0	0	0		
			工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0		
			無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0		
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産	0	0	0			
		その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	0	0	0			
		資産の部合計	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	0	0	0			
備考	令和4年度の行政収入の使用料及び手数料は、公園占用料(17千円)、公園施設使用料庭球場(2,516千円)及びびぐらしベーカー(826千円)の使用料である。貸借対照表については、令和6年度に作成する施設分析シートから数値を計上する予定である。											

指標		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	-	-	-
	管理面積1㎡当たり年間コスト(円)	-	-	-	3,486	-
	区民1人当たり年間コスト(円)	-	-	-	416	-
	1日当たりコスト(円)	-	-	-	242,918	-
備考						

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	目標値 実績値					
施設運営の方向性	● 転用・多目的化 民営化 他施設との統合 廃止 現状維持 その他()					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	東尾久地区における新たな行楽・憩いの場として、幅広い年齢層の方々に利用されている。					
現状・課題	<p>○管理業務委託により、四季折々の花が咲く花壇や芝生広場が適切に維持管理されており、集客に寄与している。</p> <p>○年間を通して様々なイベントを行うことで認知度の向上及び利用促進が図られている。</p> <p>○芝生広場の一部をボール遊びができる部分を開放(令和5年4月から試行中)しているため、利用者に喜ばれているが、一方で踏みつぶされる芝生の劣化が早く、芝生管理に苦慮している。</p> <p>○地域や公園利用者にとって、さらに使いやすい公園となるよう、管理方法や区のかかわり方を考える必要がある。</p>					
課題に対する現時点での考え	○公園管理の経験が豊富な業者が管理業務を担っており、適切な管理ができています。今後は、公園の管理運営に官民連携の仕組みを取り入れることについても検討していく。					
議会、利用者等からの意見						

令和5年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S11-04-02		
施設名	橋梁				
所在地	8か所				
部課名	防災都市づくり部土木管理課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築		国・都	区債	一般財源
	増改築①				
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日			区職員	その他	
供用開始年月日			職員数		
構造			階層		
面積	敷地面積				m ²
	延床面積				m ²
設置目的・経緯	人の移動や物資の輸送のための施設として架橋している。				
関連部署	防災都市づくり部基盤整備課				
根拠法令等	道路法				
設置条例	荒川区管理通路条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	●エレベーター	○トイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	●点字ブロック	○スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-			期間	-	から
事業内容	道路橋：第二日暮里跨線道路橋（昭和41年架橋）、下御隠殿坂跨線道路橋（平成7年架橋） 人道橋：紅葉坂跨線人道橋（昭和3年架橋）、ペDESTリアンデッキ3・4号（平成20年架橋）、 ペDESTリアンデッキ5号（平成20年架橋）、ペDESTリアンデッキ6号（平成20年架橋） 溝橋：南千住二丁目ガード（平成7年架橋）、南千住駅連絡ガード（平成19年架橋）						
対象者	一般区民他						
運営時間等	運営時間	-					
	休日	-					
施設基本データ等	道路橋箇所数（累計）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度（見込み）	
	人道橋箇所数（累計）	2	2	2	2	2	
	溝橋箇所数（累計）	4	4	4	4	4	
		2	2	2	2	2	
に指定 用等 管理 費							
備考	溝橋（ボックスカルバート）については、橋梁として取り扱う。						

III 財務諸表

(単位:千円)

	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	勘定科目			R3年度	R4年度	差額
	行政コスト計算書	行政費用	特別費用				行政収入	特別収入	当期収支差額			
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	物件費	2,059	1,867	▲192	0	0	0	0	0	0	0	
	維持補修費	0	3,770	3,770	0	0	0	0	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	補助費等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	減価償却費	65,751	65,751	0	0	0	0	0	0	0	0	
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	0	▲67,810	▲71,388	▲3,578	▲67,810	▲71,388	▲3,578	
	その他行政費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	行政費用合計(b)	67,810	71,388	3,578	▲67,810	▲71,388	▲3,578	▲67,810	▲71,388	▲3,578	▲3,578	
特別費用(g)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	▲67,810	▲71,388	▲3,578	▲67,810	▲71,388	▲3,578	▲3,578		
貸借対照表	流動資産	収入未済	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	不納欠損引当金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	有形固定資産	2,149,642	2,082,597	▲67,045	0	0	0	0	0	0	0	
	土地	1,295	0	▲1,295	0	0	0	0	0	0	0	
	建物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	建物減価償却累計額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	工作物等	3,891,693	3,891,693	0	0	0	0	0	0	0	0	
	工作物等減価償却累計額	▲1,743,346	▲1,809,097	▲65,751	0	0	0	0	0	0	0	
	無形固定資産	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
建設仮勘定	83,315	83,315	0	2,232,957	2,165,912	▲67,045	2,232,957	2,165,912	▲67,045	▲67,045		
その他の固定資産	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
資産の部合計	2,232,957	2,165,912	▲67,045	2,232,957	2,165,912	▲67,045	2,232,957	2,165,912	▲67,045	▲67,045		
備考	流動負債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	還付未済金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
特別区債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
賞与引当金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他の流動負債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
固定負債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
特別区債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
退職給与引当金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他の固定負債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
負債の部合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
正味財産	2,232,957	2,165,912	▲67,045	2,232,957	2,165,912	▲67,045	2,232,957	2,165,912	▲67,045	▲67,045		
正味財産の部合計	2,232,957	2,165,912	▲67,045	2,232,957	2,165,912	▲67,045	2,232,957	2,165,912	▲67,045	▲67,045		
負債及び正味財産の部合計	2,232,957	2,165,912	▲67,045	2,232,957	2,165,912	▲67,045	2,232,957	2,165,912	▲67,045	▲67,045		
備考	行政費用の物件費は、紅葉橋の清掃委託やエレベータの保守管理委託等に係る費用である。 令和4年度における行政費用の維持補修費は、日暮里駅前のペDESTリアンデッキの改修工事及び紅葉橋のゲート塗装工事に係る費用である。											

指標		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	41	43	45	46.5	
	区民1人当たり年間コスト(円)	469	532	318	335	
	1日当たりコスト(円)	273,827	310,989	185,781	195,584	
備考						

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 (計画名: 荒川区橋梁長寿命化修繕計画)					
目標指標	指標名・単位	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	橋梁点検・調査数	5	2	0	0	0
	目標値	5	2	0	0	0
	実績値	5	2	0	0	0
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他()					
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ	基礎的なインフラであり、区民の生活に不可欠である。					
現状・課題	<input type="radio"/> 紅葉坂跨線人道橋 ・老朽化が進み、バリアフリー化にも対応していないため、令和2年度と3年度にエレベータやエスカレーターの設置に向け調査、検討を行った結果、道路線形の大幅な見直しが必要なこと、地下埋設物が支障となることなど、多くの課題が判明した。 <input type="radio"/> 橋梁全般 ・老朽化及びそれに伴う維持管理費の増大に対応する必要がある。 ・跨線橋は、鉄道営業路線上空を跨いでおり、補修工事に莫大な経費と期間が必要となる。					
課題に対する現時点での考え	<input type="radio"/> 紅葉坂跨線人道橋 ・引き続きバリアフリー化の検討を進めるとともに、鉄道事業者等と協議を行っていく。 <input type="radio"/> 橋梁全般 ・従来の事後保全型の維持管理から、予防保全型の維持管理へ転換を図る。 ・跨線道路橋については、鉄道事業者と十分に協議を行い、計画的な補修を検討していく。 ・橋梁長寿命化を図るため、道路法に基づく橋梁定期点検・調査を実施していく。					
議会、利用者等からの意見	<input type="radio"/> 平成28年度2月会議 紅葉坂跨線人道橋の整備について <input type="radio"/> 平成30年度2月会議 紅葉坂跨線人道橋のバリアフリー化について <input type="radio"/> 令和元年決特 紅葉坂跨線人道橋のバリアフリー化について <input type="radio"/> 令和3年度6月会議 日暮里駅周辺の整備について					

令和5年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S11-04-01		
施設名	道路				
所在地	1.068路線				
部課名	防災都市づくり部土木管理課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築				
	増改築①				
併設施設					
竣工年月日			区職員	その他	
供用開始年月日			職員数		
構造			階層		
面積	敷地面積				1,260,564 m ²
	延床面積				- m ²
設置目的・経緯	街の骨格を形成するとともに、交通の発達に寄与し、公共の福祉を増進するため、道路網を整備している。				
関連部署	防災都市づくり部基盤整備課				
根拠法令等	道路法				
設置条例	荒川区管理通路条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	●エレベーター	○トイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	●点字ブロック	●スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から	
事業内容	・特別区道および管理通路の維持管理					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	-				
	休日	-				
施設基本データ等	無電柱化整備延長 (m)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込み)
	特別区道延長 (m)	10,307	10,537	10,537	10,537	10,537
	管理通路延長 (m)	197,935	197,935	197,935	197,935	197,935
	特別区道(路線数)	7,898	7,898	7,898	7,898	7,898
	管理通路(路線数)	988	988	973	973	973
	管理通路(路線数)	95	95	95	95	95
に指定に係る費用等						
備考	昭和28年に東京都から区に移管された時点において、すでに道路としての実態のない特別区道を令和3年度2月会議にて廃止した。					

III 財務諸表

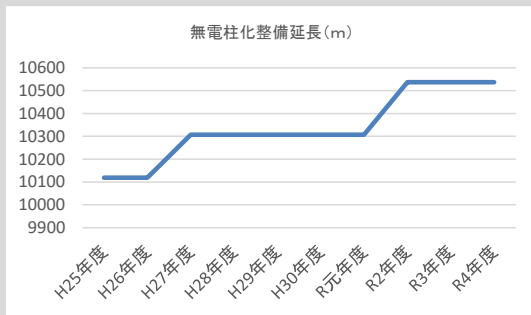
(単位:千円)

	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	勘定科目			R3年度	R4年度	差額
	R3年度	R4年度	差額				R3年度	R4年度	差額			
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0			
		物件費	432,826	486,994	54,168	国庫支出金	750	6,175	5,425			
		維持補修費	319,178	344,014	24,836	都支支出金	12,869	59,282	46,413			
		扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	4,774	0	▲ 4,774			
		補助費等	12,807	0	▲ 12,807	使用料及び手数料	0	884,446	884,446			
		減価償却費	72,876	78,518	5,642	その他	0	94,525	94,525			
		不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	18,393	1,044,428	1,026,035			
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 936,074	45,056	981,130			
		其他行政費用	116,780	89,846	▲ 26,934	金融収支差額(d)	▲ 895	▲ 753	142			
		行政費用合計(b)	954,467	999,372	44,905	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 936,969	44,303	981,272			
特別費用(g)	28,987	2,538	▲ 26,449	特別収入(f)	64,299	0	▲ 64,299					
特別収支差額(f)-(g)=(h)	35,312	▲ 2,538	▲ 37,850	当期収支差額(e)+(h)	▲ 901,657	41,765	943,422					
貸借対照表	固定資産	収入未済	277	277	0	流動負債	8,015	6,395	▲ 1,620			
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0			
		その他の流動資産	0	0	0	特別区債	8,015	6,395	▲ 1,620			
		有形固定資産	187,208,702	187,515,804	307,102	賞与引当金	0	0	0			
		土地	175,353,448	175,437,243	83,795	その他の流動負債	0	0	0			
		建物	0	0	0	固定負債	76,498	70,103	▲ 6,395			
		建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	76,498	70,103	▲ 6,395			
		工作物等	12,957,428	13,259,254	301,826	退職給与引当金	0	0	0			
		工作物等減価償却累計額	▲ 1,102,174	▲ 1,180,692	▲ 78,518	その他の固定負債	0	0	0			
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	84,513	76,498	▲ 8,015			
建設仮勘定	146,002	281,915	135,913	正味財産	187,270,468	187,721,498	451,030					
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	187,270,468	187,721,498	451,030					
資産の部合計	187,354,981	187,797,996	443,015	負債及び正味財産の部合計	187,354,981	187,797,996	443,015					
備考	行政収入の使用料及び手数料については、令和4年度から道路占用料を計上したことから、大幅に増額している。行政収入のその他については、令和4年度から掘削道路復旧費等を計上したことから、大幅に増加している。											

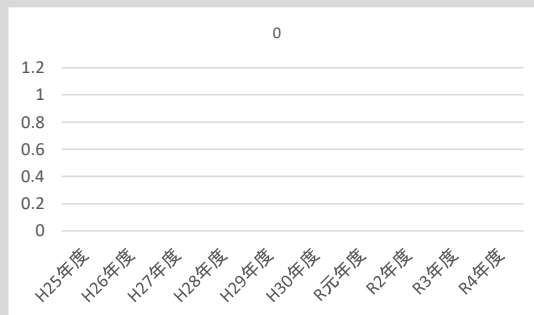
指標		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
財務指標・ 評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	7	8	9	8.9	
	管理面積1m当たり年間コスト(円)	647	725	757	793	
	区民1人当たり年間コスト(円)	3,821	4,283	4,477	4,687	
	1日当たりコスト(円)	2,232,134	2,502,049	2,614,978	2,738,005	
	区道1m当たりコスト(円)	3,958	4,437	4,637	4,855	
備考						

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	道路延長(m)	197,935	197,935	197,935	197,935	197,935
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他()					
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ	区民の生活に欠かすことのできない極めて基礎的なインフラである。					
現状・課題	<p>○令和元年度に実施した道路ストロップ総点検の結果を踏まえ、危険な箇所については既に対処が完了しているが、引き続き損傷や陥没等の早期発見に努めていく必要がある。</p> <p>○路面下で発生している空洞が原因となり、道路陥没が発生することで、重大な事故に繋がる可能性があるほか、災害時には避難路としての機能や災害救援活動への影響が懸念される。</p> <p>○都市計画道路については、整備率58.1%で近年は変動のない状況となっている。</p> <p>○電柱が防災性や安全な通行、景観形成を阻害しているため、都市計画道路以外の既設道路や歩道のない路線についても、無電柱化を推進する必要がある。</p> <p>○区道において、歩行者や自転車、自動車が混在する路線が多くあり、自転車が安全に走行できる空間を確保する必要がある。</p> <p>○樹木の根上がり等により段差が発生している箇所を是正し、バリアフリー化を徹底する必要がある。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○道路ストック総点検の結果を基に、引き続き計画的に補修を実施する。</p> <p>○路面下空洞調査の結果を踏まえ、空洞が疑われる箇所の改修を進める必要がある。</p> <p>○都市計画道路の整備については、現在事業中の3路線の早期完成を目指し取り組んでいく。</p> <p>○無電柱化推進計画に基づき、計画的な整備を進める。</p> <p>○「自転車ネットワーク計画」に基づき、自転車の走行空間の整備を計画的に進める。</p> <p>○老朽化が進んでいる樹木から優先的に植え替えを行う。</p>					
議会、利用者等からの意見	<p>○令和2年度2月 自転車専用レーンの整備について</p> <p>○令和3年度11月 都市計画道路、主要生活道路等のインフラ整備について</p> <p>○令和3年度2月 防災減災のための無電柱化のスピードアップについて</p> <p>○令和4年度11月 無電柱化の推進について</p>					



無電柱化推進計画に基づき整備を進めており、着実に延長を伸ばしている。



区道1m当たりの管理コストは、増加傾向にある。

令和5年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S11-03-02		
施設名	南千住駅東口自転車等駐車場				
所在地	南千住四丁目1番2号				
部課名	防災都市づくり部土木管理課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	平成14年	418,064	国・都	192,000
	増改築①			区債	226,064
	増改築②			一般財源	
併設施設	-				
竣工年月日	平成14年3月15日		区職員		その他
供用開始年月日	平成14年 4月 1日		職員数	0	9
構造	S造		階層	地上3階地下1階	
面積	敷地面積	922㎡			
	延床面積	2,247㎡			
設置目的・経緯	自転車等の利用者の利便を図り、区民の良好な生活環境の向上に資するため。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区自転車等の放置防止及び自転車等駐車場の整備に関する条例 荒川区自転車等駐車場条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	○エレベーター	○トイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	○点字ブロック	●スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	株式会社ソーリン	期間	令和5年4月1日 令和10年3月31日	から まで	
事業内容	南千住駅自転車等駐車場の利用の承認・不承認、使用料の收受、還付、利用承認の取り消し及び施設の維持管理に関する業務を行う。 (自転車定期1,318台 自転車一時100台 原付定期20台 原付一時5台)					
対象者	自転車等駐車場利用者					
運営時間等	運営時間	24時間営業				
	休日	-				
施設基本データ等		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込み)
	定期利用者数(人)	333,536	233,943	249,719	277,707	290,000
	一時利用者数(人)	25,452	18,937	25,549	34,129	35,000
	延べ利用者数(人)	358,988	252,880	275,268	311,836	325,000
	定数(台)	1,445	1,470	1,470	1,443	1,443
	定期利用率(%)	107	97	89	97	100
	一時利用率(%)	47	34	47	64	65
に指定管理 等に係る 費用	指定管理料(千円)	963	1,802	590	2,399	26,650
	指定管理者の支出合計(千円)	25,172	24,778	20,808	23,243	26,711
	指定管理者の人件費(千円)	14,187	13,249	10,841	9,507	11,275
	使用料収入(千円)	31,576	25,833	25,771	28,467	30,000
備考	使用料収入について、令和4年度までは利用料金制のため、事業者の収入となっており、令和5年度以降は使用料制のため、区の収入となっている。指定管理料について、令和4年度までは修繕費のみ支出しており、令和5年度以降は修繕費に加えて人件費、管理運営費も支出している。					

III 財務諸表

(単位:千円)

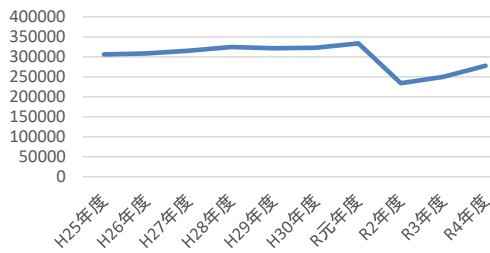
	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	勘定科目			R3年度	R4年度	差額
	R3年度	R4年度	差額				R3年度	R4年度	差額			
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	0	0	0	0	地方税等	0	0	0	0	
		物件費	644	2,453	1,809	行政収入	0	0	0	0		
		維持補修費	1,209	0	▲1,209	国庫支出金	0	0	0	0		
		扶助費	0	0	0	都支支出金	0	0	0	0		
		補助費等	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	0		
		減価償却費	14,553	14,553	0	使用料及び手数料	0	0	0	0		
		不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	その他	0	6,073	6,073	6,073		
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	6,073	6,073	6,073		
		その他行政費用	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲16,406	▲10,933	5,473	5,473		
		行政費用合計(b)	16,406	17,006	600	金融収支差額(d)	▲91	0	91	91		
		特別費用(g)	0	0	0	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲16,497	▲10,933	5,564	5,564		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	0				
				当期収支差額(e)+(h)	▲16,497	▲10,933	5,564	5,564				
貸借対照表	固定資産	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0	0		
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	0		
		その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0	0		
		有形固定資産	164,631	150,078	▲14,553	賞与引当金	0	0	0	0		
		土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0	0		
		建物	0	0	0	固定負債	0	0	0	0		
		建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	0	0	0	0		
		工作物等	443,692	443,692	0	退職給与引当金	0	0	0	0		
		工作物等減価償却累計額	▲279,061	▲293,614	▲14,553	その他の固定負債	0	0	0	0		
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0	0		
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産	164,631	150,078	▲14,553	▲14,553		
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	164,631	150,078	▲14,553	▲14,553				
資産の部合計	164,631	150,078	▲14,553	負債及び正味財産の部合計	164,631	150,078	▲14,553	▲14,553				
備考	行政費用の物件費は、指定管理料(修繕費)と樹木剪定委託費が計上されている。また、令和3年度の維持補修費は、ベルトコンベアの修繕費である。 令和4年度の行政収入のその他は、指定管理者変更に伴う前受金である。											

指標		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
財務指標・ 評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	56	60	63	66.2	
	1㎡当たりコスト(円)	6,978	7,302	7,301	7,568	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	56	54	52	40.9	
	1日当たりコスト(円)	42,956	44,953	44,948	46,592	
	利用者1人当たりコスト(円)	44	65	60	55	
	定数1台当たり年間コスト(円)	10,851	11,355	11,354	11,769	
	受益者負担率(%)	79	66	70.4	75.2	
備考						

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

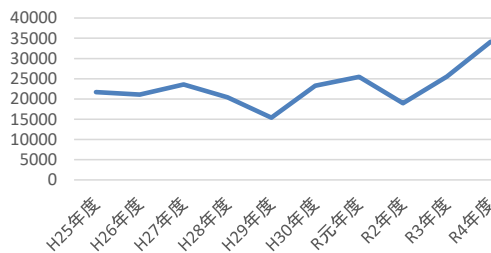
計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	年間利用者数(人)	目標値 348,500	366,000	326,000	286,000	325,000
	実績値	358,988	252,880	275,268	311,836	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	駅の近隣にあり、自転車利用者のニーズは高い。					
現状・課題	<p>○令和5年4月、指定管理者が交代した。</p> <p>○一時利用は民営自転車駐輪場、定期利用は区駐輪場という傾向があり、補完関係にあるが、民営自転車駐輪場の利用率は高く、満車に近い状態となっている。</p> <p>○3階部分の利用率が低かったため、令和元年度から3階専用料金を導入している。</p> <p>○令和3年度から24時間営業としているが、深夜や早朝の時間帯を無人とすることで、管理コストの縮減を図っている。</p> <p>○令和4年度までは利用料金制で運営してきたが、収支状況が良くなかった。そのため、令和5年度からは使用料金制に変更する。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○定期利用と一時利用のニーズを踏まえて、弾力的な対応を行っていく。</p> <p>○令和5年度から使用料金制に変更したことで、事業者の負担軽減を図り、安定した駐車場の運営体制に変更した。</p>					
議会、利用者等からの意見						

定期利用者数(人)



令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少したが、以降は増加に転じている。

一時利用者数(人)



令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少したが、以降は増加に転じている。また、働き方改革などの影響もあり、定期利用に比べ、増加が大きい。

令和5年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S11-03-05		
施設名	日暮里駅前自転車駐車場				
所在地	西日暮里二丁目24番2号				
部課名	防災都市づくり部土木管理課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	平成20年	1,206,840	国・都	568,000
	増改築①			区債	
	増改築②			一般財源	641,840
併設施設	-				
竣工年月日	平成20年3月31日		区職員		その他
供用開始年月日	平成20年4月1日		職員数	0	9
構造	RC造		階層	地下1階	
面積	敷地面積	地下構造物のため敷地無			
	延床面積	1,706㎡			
設置目的・経緯	自転車等の利用者の利便を図り、区民の良好な生活環境の向上に資するため。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区自転車等の放置防止及び自転車等駐車場の整備に関する条例 荒川区自転車等駐車場条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーター	○ トイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	株式会社ソーリン	期間	令和5年4月1日 令和10年3月31日	から まで	
事業内容	日暮里駅前自転車駐車場の利用の承認・不承認、使用料の收受、還付、利用承認の取消し及び施設の維持管理に関する業務等を行う。 (定期利用定数758台 一時利用定数186台)					
対象者	自転車駐車場利用者等					
運営時間等	運営時間	午前4時30分～翌日の午前1時00分				
	休日	-				
施設基本データ等		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込み)
	定期利用者数(人)	118,712	81,867	92,863	84,396	90,000
	一時利用者数(人)	96,216	87,877	108,713	118,556	130,000
	延べ利用者数(人)	214,928	169,744	201,576	202,952	220,000
	定数(台)	944	944	944	944	944
	定期利用率(%)	65	58	56	54	60
	一時利用率(%)	145	135	160	175	180
に指定管理 に係る費用	指定管理料(千円)	888	1,100	1,007	558	36,200
	指定管理者の支出合計(千円)	26,279	26,024	25,786	25,610	36,261
	指定管理者の人件費(千円)	10,472	13,991	13,941	14,079	18,394
	使用料収入(千円)	20,960	18,115	19,149	19,829	21,000
備考	使用料収入について、令和4年度までは利用料金制のため、事業者の収入となっており、令和5年度以降は使用料制のため、区の収入となっている。指定管理料について、令和4年度までは修繕費のみ支出しており、令和5年度以降は修繕費に加えて人件費、管理運営費も支出している。					

III 財務諸表

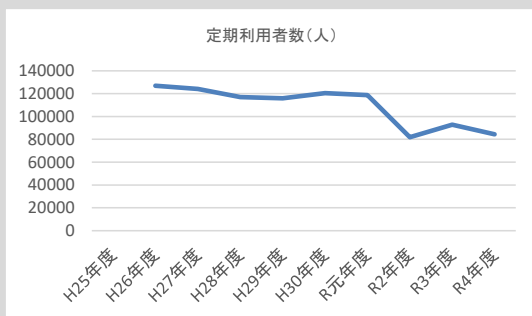
(単位:千円)

	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	勘定科目			R3年度	R4年度	差額
	行政コスト計算書	行政費用	特別費用				行政収入	特別収入	当期収支差額			
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	0	0	地方税等	0	0	0	0	
	物件費	4,231	3,782	▲ 449	0	0	国庫支出金	0	0	0	0	
	維持補修費	1,287	0	▲ 1,287	0	0	都支支出金	0	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	0	
	補助費等	0	0	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0	0	
	減価償却費	32,585	32,585	0	0	0	その他	0	1,866	1,866	1,866	
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	0	0	行政収入合計(a)	0	1,866	1,866	1,866	
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 38,103	▲ 34,501	3,602	3,602	
	その他行政費用	0	0	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	0	
	行政費用合計(b)	38,103	36,367	▲ 1,736	0	0	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 38,103	▲ 34,501	3,602	3,602	
特別費用(g)	0	0	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 38,103	▲ 34,501	3,602	3,602		
貸借対照表	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	勘定科目			R3年度	R4年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	0	流動負債	0	0	0	0	
		不納欠損引当金	0	0	0	0		還付未済金	0	0	0	
		その他の流動資産	0	0	0	0		特別区債	0	0	0	
	固定資産	有形固定資産	750,654	718,070	▲ 32,584	0	0	賞与引当金	0	0	0	
			土地	0	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0	
			建物	0	0	0	0	固定負債	0	0	0	
			建物減価償却累計額	0	0	0	0		特別区債	0	0	0
			工作物等	1,206,840	1,206,840	0	0		退職給与引当金	0	0	0
			工作物等減価償却累計額	▲ 456,186	▲ 488,770	▲ 32,584	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	0	負債の部合計	0	0	0	0		
	建設仮勘定	0	0	0	0	正味財産	750,654	718,070	▲ 32,584	▲ 32,584		
	その他の固定資産	0	0	0	0	正味財産の部合計	750,654	718,070	▲ 32,584	▲ 32,584		
資産の部合計	750,654	718,070	▲ 32,584	750,654	718,070	▲ 32,584	負債及び正味財産の部合計	750,654	718,070	▲ 32,584		
備考	行政費用の物件費は、指定管理料(修繕費)と精算機及び駐輪ラックの賃借料が計上されている。また、令和3年度の維持補修費は、エレベーターの修繕費である。令和4年度の行政収入のその他は、指定管理者変更に伴う前受金である。											

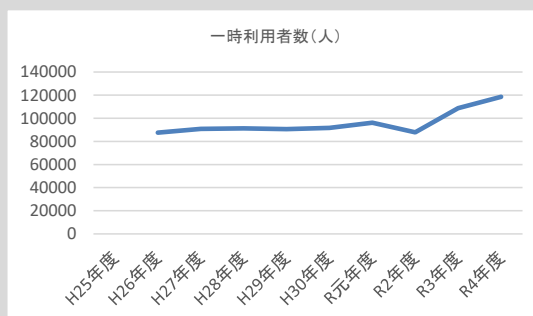
指標		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
財務指標・ 評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	32	35	38	40.5	
	1㎡当たりコスト(円)	20,881	21,635	22,335	21,317	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	40	54	54	55.0	
	1日当たりコスト(円)	97,597	101,121	104,392	99,636	
	利用者1人当たりコスト(円)	166	217	189	179	
	定数1台当たり年間コスト(円)	30,709	31,818	32,847	31,351	
	受益者負担率(%)	34	29	30.5	32.3	
備考	大型自転車への対応にするため、定数を減らした影響もあり、定数1台当たりの年間コストは増加している。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	年間利用者数(人)	目標値 217,000	220,000	190,000	210,000	220,000
		実績値 214,928	169,744	201,576	202,952	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	駅や商業施設に隣接しており、駅利用者、買い物客等のニーズが高い。					
現状・課題	○令和5年4月、指定管理者が交代した。 ○定期利用の利用率が低く、健全な収支を実現することが求められている。 ○これまでは利用料金制で運営してきたが、収支状況が良くなかった。そのため、令和5年度からは使用料金制に変更する。 ○一時利用が定員を超えて利用される状況が発生しているため、一時ラックの台数について、適正化を検討していく必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○駅周辺の放置自転車対策の強化や駐輪場利用に関する周知活動の強化等により、利用者の増加を図っていく。 ○令和5年度から使用料金制に変更したことで、事業者の負担軽減を図り、安定した駐車場の運営体制に変更した。 ○令和5年4月から日暮里駅周辺の放置禁止区域を拡大した影響も考慮し、適正台数を考慮した上、一時ラックの増設を検討中。					
議会、利用者等からの意見						



令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少し、以降は概ね横ばいとなっている。



令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少したが、令和3年度から増加に転じている。定期利用に比べて一時利用のニーズが伸びている。